第12回

東海三県小児在宅医療・福祉・教育研究会

日時 2027年1月31日日

午後1時～午後5時まで（開場正午）

場所 ウインクあいち（愛知県産業労働センター）大ホール

定員 400人　**参加費** 無料

手話通訳
要約筆記あり

医療的ケア児を支えるご家族は、24時間365日の“見えないケア”を担っています。その負担を軽くするレスパイトケアは、家族の暮らしを守る“もう一つの命綱”です。今回は、各県レスパイトケアの現状と課題を共有し、よりよい支援をともに考える時間にします。

テーマ

「レスパイトケア」

内容

13：00～13：10 開会のあいさつ

13：10～14：15 基調講演

「医療的ケアがあっても安心できるインクルーシブな社会を目指して」

座　長／夏目　淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座特任教授）

講演者／内多　勝康（国立成育医療センターもみじの家シニアアドバイザー
一般社団法人ソーシャルアクションジャパン代表理事）

14：30～16：00 シンポジウム

「東海三県の医療的ケア児支援の取り組み」

座　長／山本　崇裕（岐阜大学大学院医学系研究科小児在宅医療教育支援センター副センター長）
澤田　博文（三重大学医学部附属病院小児・AYAがんトータルケアセンターセンター長）
丸山　幸一（愛知県医療療育総合センター中央病院副院長）

岐阜県「基幹病院でのレスパイトケア」

発表者／金子　英雄（岐阜県総合医療センター重症心身障がい児施設すこやか施設長）

三重県「ひとりの声から地域が動く
～在宅レスパイトケアを始めとするサービス創出に向けた東紀州3市町協働のプロセス～」

発表者／田尾　寛子（御浜町健康福祉課）
木村　優（紀宝町福祉課）
瀬古　樹（熊野市福祉事務所社会福祉係）

愛知県「家族が本当に求めるレスパイトケアとは
--当事者家族・看護師の視点から考える支援のあり方--」

発表者／小林　昌代（医療的ケア児の保護者 一般社団法人 Special Needs Support 代表理事）

16：00～16：50 総合討論

16：50～17：00 閉会のあいさつ

問合せ先（事務局）
〒480-0392　愛知県春日井市神屋町713−8
愛知県医療療育総合センター　療育支援センター　地域支援課
TEL.0568−88−0811(代表)　内線 8106

【主催】

岐阜県、三重県、愛知県、名古屋市、愛知県医療療育総合センター、岐阜大学大学院医学系研究科小児在宅医療教育支援センター、三重大学医学部附属病院小児・AYAがんトータルケアセンター、名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座

【後援】

・岐阜県医師会、岐阜県小児科医会、岐阜県歯科医師会、岐阜県薬剤師会、岐阜県看護協会、岐阜県特別支援学校長会、岐阜県病院協会、岐阜県作業療法士会、岐阜県理学療法士会、岐阜県言語聴覚士会、岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会、岐阜県臨床工学技士会、岐阜県教育委員会
・三重県医師会、三重県小児科医会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会、三重県看護協会、三重県病院協会、三重県理学療法士会、三重県作業療法士会、三重県特別支援学校長会、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会、三重県訪問看護ステーション協議会、三重県医療ソーシャルワーカー協会、三重県教育委員会
・愛知県医師会、愛知県小児科医会、愛知県歯科医師会、愛知県薬剤師会、愛知県看護協会、愛知県在宅療養支援医協会、愛知県訪問看護ステーション協議会、愛知県歯科衛生士会、愛知県特別支援学校長会、愛知県教育委員会、名古屋市医師会、名古屋市小児科医会、名古屋市歯科医師会、名古屋市教育委員会

申込期間　2027年1月6日㈬まで

申込方法　右記の二次元コード又はURL（愛知県電子申請届出システム）から御申込み下さい。
１月15日㈮までに申込者全員に受講選考結果をメールにて通知いたしますので、通知がない場合は、事務局まで御連絡ください。

https://ttzk.graffer.jp/pref-aichi/smart-apply/apply-procedure-alias/0131

▶会場への交通アクセス◀

会場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）大ホール
名古屋市中村区名駅４丁目4−38（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より
・JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面　徒歩５分
・ユニモール地下街　５番出口　徒歩２分

